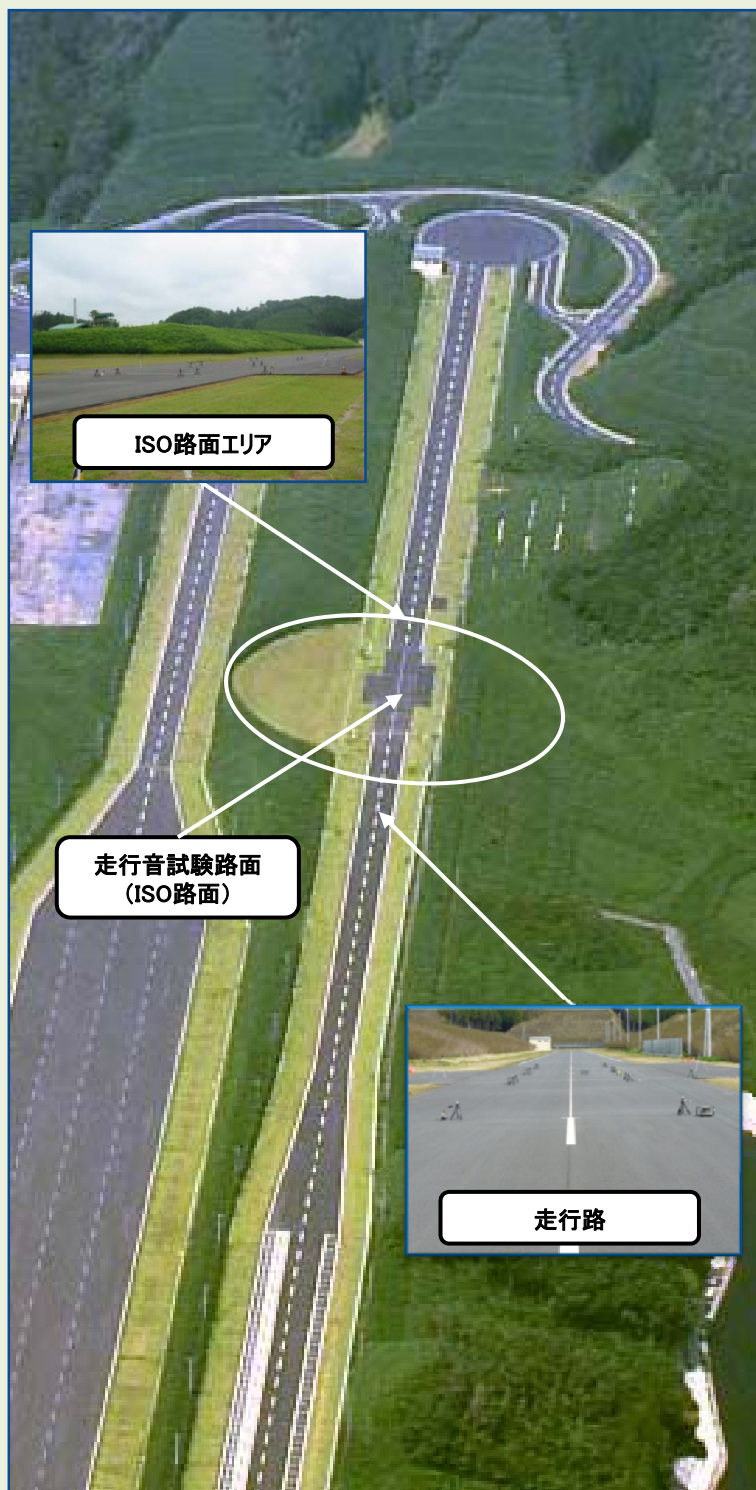


# 車外騒音試験

(城里テストセンター内)

- 試験法開発で培った、信頼性の高い各種車両の騒音評価試験
- 後付消音器・非認証車の公的試験機関としての騒音試験
- 城里テストセンターの走行音試験路面(加速区間約1,000m, 減速区間約300m)では高速走行時の騒音評価試験が可能

Vehicle Pass-by Noise Test



通過騒音試験

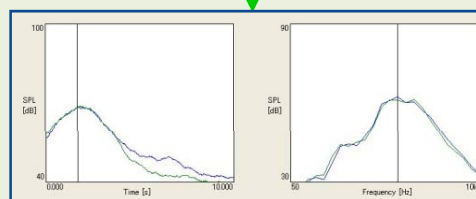


近接排気騒音試験



騒音レベルの時間変化

周波数特性

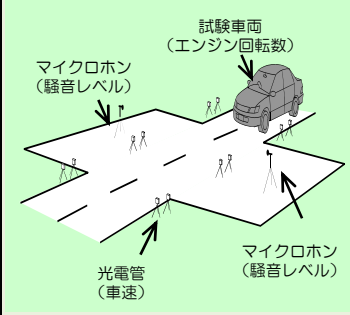


城里テストセンター 多用途試験路  
全長: 1,500m

車外騒音計測システム

# 対応可能な試験事例

試験区分	適用試験法例	試験対象	走行音試験路面	計測項目
騒音評価試験	国内試験法 (TRIAS* <sup>1</sup> ) ・加速走行騒音試験 ・定常走行騒音試験 ・近接排気騒音試験 ・警音器試験  UN規則 (UN/WP29* <sup>2</sup> ) ・R51 (四輪車) ・R41 (二輪車) ・R117 (タイヤ)  ISO規格 ・ISO 362-1 (四輪車) -2 (二輪車) ・ISO 13325 (タイヤ) ・ISO 5130 (近接排気)	・二輪車  ・小型車 (車両総重量3.5t以下)  ・大型車 (車両総重量3.5t超)	<城里テストセンター> 多用途試験路内 走行音試験路面 (茨城県東茨城郡城里町)	・騒音レベル ・車速 ・エンジン回転数 ・その他* <sup>3</sup>
	公的試験機関としての騒音試験 ・後付消音器 ・非認証車			



- \* 1: 新型自動車審査関係基準
- \* 2: 国連自動車基準調和世界フォーラム
- \* 3: その他の測定項目についてもご相談に応じます。

# JARI走行音試験路面 (ISO路面) の諸元

		旧規格 (ISO 10844-1994, JIS D 8301-1993)	新規格 (ISO 10844-2014, JIS D 8301-2013)	<城里テストセンター* <sup>1</sup> > 多用途試験路内 走行音試験路面
施行日		—	—	2014/11/19
施工業者		—	—	NIPPO Corporation
路面の 要求特性	空隙率	8%以下	—	6.8%
	吸音率	10%以下(コアによる測定)	走行部:8%以下 伝搬部:10%以下 (現場吸音率による測定)	コアによる測定:7.0% 現場吸音率による測定 走行部:6.8% 伝搬部:5.8%
	路面粗さ	TD値=0.4 mm 以上	MPD値=0.5mm±0.2mm	TD値:0.57mm MPD値:0.36mm
	凹凸量 (走行部)	—	縦断方向:2mm以下 横断方向:3mm以下	縦断方向:0mm 横断方向:1mm
設計 要求事項	舗装種類	密粒度アスファルトコンクリート	←	←
	骨材の 最大粒径	8 mm (許容範囲:6.3~10 mm)	←	←
	舗装厚さ	30 mm 以上	←	40 mm
	バインダ	ストレートアスファルト	ストレートアスファルトと改質アスファルトも可	ストレートアスファルト

\* 1: ISO 10844-1994, JIS D 8301-1993およびISO 10844-2014, JIS D 8301-2013に適合